

2021/3/12

経済産業省より、未来社会の創り手を育む「STEAM ライブラリーVer.1」 が公開されました。



一般社団法人教育ソリューション研究協議会（以下、「教育ソリューション研究協議会」 本社：岡山市北区駅元町 代表理事：尾崎 茂）が制作したSTEAM教育コンテンツが、経済産業省の「未来の教室」プロジェクトSTEAMライブラリーにて公開されました。

### 記

#### 【概要】

教育ソリューション研究協議会は、株式会社うちゅう（本社：東京都墨田区 代表：八島 京平）と連携し、「宇宙」をテーマとした教科横断的な学びのSTEAM教育コンテンツを制作しました。試行錯誤と協働作業を通じて、子どもたちのやり抜く力（GRIT）や、つながる力（コラボレーション）を育む要素も含まれています。制作したコンテンツは経済産業省の「未来の教室」プロジェクトが運営するSTEAMライブラリーに掲載され、無償で一般公開されます。[\(https://www.steam-library.go.jp/\)](https://www.steam-library.go.jp/)

**（一社）教育ソリューション研究協議会×（株）うちゅう**  
「人類は宇宙で生き抜くことができるのか？」 小学生版/高校生版/ロケット特化編

- 宇宙進出に向け求められる「科学知識」のみならず、今までの宇宙開発の歴史なども概観し、文・理・芸術を横断して宇宙を多面的に探究する
- 発展編も今後追加予定であり、モデルロケットの打ち上げといった、子供たちの好奇心と創造性を刺激する実際に手を動かすコンテンツも開発

#### 概要

##### 取扱うSDGsの項目



##### 取扱う教科 / 単元

- **生物×家庭科⇒宇宙食**  
宇宙で長期生活することを意識して食と環境を考える
- **英語×国語⇒宇宙飛行士**  
宇宙でも役に立つ多様な背景を持つメンバーとのコミュニケーション
- **歴史×理科⇒宇宙への挑戦**  
宇宙開発史の「失敗」を学び、そこから何が活かせるか考える

##### 協力 / 連携先

- 岡山大学 中山芳一（専門：非認知能力）
- T-KIDSシェアスクール

#### コンテンツ詳細

**宇宙時代の到来・・・**

地球は現在、人口爆発による食料不足、エネルギー資源の枯渇、環境破壊など様々な問題を抱えている

そんな中、選択肢の一つとして人類の存続を妨げない目標に掲げることが「宇宙」というアイデア

今、世界の第一線では、月や火星への移住に向けて本格的に動き出している

そんな時代だからこそ、チームの協働力、自らの探究心、宇宙への知識やスキル、チームの協働力、自らの探究心、未知の状況にも対応できる思考力、判断力などが求められている

僕たちは、宇宙というフィールドで生き抜くことはできるのか？



##### A.地球外への移住

- ①地球からの脱出（ペットボトルロケット）
- ②惑星への着陸（エッグドロップチャレンジ）
- ③宇宙食（食と生態系・エコロカルフットプリント）
- ④宇宙建築（まちづくりとインフラ・生活を考える）
- ⑤宇宙で生きていく力（コミュニケーションを培う多彩なゲーム）
- ⑥宇宙生活（不便な宇宙での生活を豊かにするIoT）

##### B.宇宙の利用

- ⑦人工衛星（地理・海洋・大気など衛星の利用を知る）

##### ロケット特化編

- 地球からの脱出2（モデルロケット作成に挑戦）

##### C.宇宙の探究

- ⑧宇宙への挑戦（宇宙開発史のしくじりから学べることは何か）
- ⑨宇宙の謎（未解決・未知なものがこの世にはあると実感）
- ⑩宇宙の生命（条件から考察して環境と生物を考える）

多様な観点で宇宙を学べるA.B.Cの3つの中テーマから学ぶ「基礎コンテンツ」  
少しだけ背伸びする「特化コンテンツ」が存在

コマは今後も追加されます！

【経済産業省のプレスリリース】

<https://www.meti.go.jp/press/2020/03/20210301001/20210301001.html>

【開発した教材】

小学生版：<https://www.steam-library.go.jp/content/20>

高校生版：<https://www.steam-library.go.jp/content/21>

ロケット特化版：<https://www.steam-library.go.jp/content/22>

【本件に関するお問い合わせ先】

一般社団法人教育ソリューション研究協議会

STEAM ライブラリ事業「宇宙テーマの教育コンテンツ開発」プロジェクト

統括責任者：宇宙 星太郎 こと大谷 浩輝

(教育ソリューション研究協議会 研究員)

TEL：086-280-8585

MAIL：[info@esc.or.jp](mailto:info@esc.or.jp)

以上